Good luck. Good life.

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上 場 会 社 名	株式会社ＳＡＮＫＹＯ		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	6417	URL	https://www.sankyo-fever.co.jp/
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）小倉　敏男	
問合せ先責任者	（役職名）専務執行役員管理本部長	（氏名）赤石　昌大	TEL　03-5778-7777(代)
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月１日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（1）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	81,025	△19.3	27,307	△30.0	28,428	△28.8	20,499	△28.8
2026年３月期中間期	100,409	10.7	39,038	7.6	39,949	8.7	28,773	9.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　20,895百万円(△29.0%)　2026年３月期中間期　29,446百万円(　14.4%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	103.79	102.42
2026年３月期中間期	135.62	133.89

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	304,891	262,106	85.5
2026年３月期	287,458	250,155	86.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　260,628百万円　　2026年３月期　248,677百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	－	45.00	－	45.00	90.00
2027年３月期	－	50.00			
2027年３月期(予想)			－	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	174,000	△2.9	56,000	△10.4	58,000	△9.4	40,000	△14.4	202.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

新規　　ー社（社名）　、除外　　ー社（社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（4）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	230,000,000株	2026年３月期	230,000,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	32,486,371株	2026年３月期	32,486,271株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	197,513,683株	2026年３月期中間期	212,155,796株

（注）期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2027年３月期中間期 2,337,500株、2026年３月期 1,247,500株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2027年３月期中間期 1,491,708株、2026年３月期中間期 1,283,154株）が含まれております。

※ 第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当中間期の経営成績の概況 …… 2
(2) 当中間期の財政状態の概況 …… 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
(1) 中間連結貸借対照表 …… 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

(1)　当中間期の経営成績の概況

パチンコ市場におきましては、2025年７月以降、新たなゲーム性「ラッキートリガー3.0プラス」を搭載した機種の導入が進んでおりますが、パチンコ市場全体の稼働改善には至っておらず、パーラーの新台導入に対する慎重な姿勢が続くなど、厳しい市場環境となっております。今後は、2026年11月以降、新たなゲーム性である「通常時フラグ」搭載機種の導入や、パチンコ機の性能や遊びやすさを示す新しい４つのカテゴリ表示の開始が予定されております。これらを通じたゲーム性の多様化や、ファンが自身に合った機種を選択しやすくなることにより、パチンコ市場の活性化が期待されております。一方、パチスロ市場におきましては、型式試験の適合率が依然として低水準で推移しているものの、好調な稼働状況を背景に堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループでは、パチンコ機関連事業におきましては、主力シリーズ機である「ｅフィーバー機動戦士ガンダムSEED クライマックス」を２万台以上販売するとともに、新規タイアップ機種も積極的に投入いたしました。また、高稼働を維持している「東京喰種」シリーズ２機種について増産対応を行いました。一方、パチスロ機関連事業におきましては、新規３タイトルを販売し、このうち「Ｌパチスロ からくりサーカス２」は２万台を超える販売実績となりました。

以上の結果、売上高810億円（前年同期比19.3％減）、営業利益273億円（同30.0％減）、経常利益284億円（同28.8％減）、親会社株主に帰属する中間純利益204億円（同28.8％減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（パチンコ機関連事業）

パチンコ機関連事業につきましては、売上高500億円（前年同期比33.2％減）、営業利益194億円（同44.8％減）、販売台数105千台（前年同期は160千台）となりました。

主な販売タイトルは、ＳＡＮＫＹＯブランドの「ｅフィーバーキン肉マン」（2026年４月）、「ｅフィーバー機動戦士ガンダムSEED クライマックス」（2026年８月）、Ｂｉｓｔｙブランドの「ｅ東京喰種 超デカ 超一撃 ver.」（2026年６月）、「ｅアサルトリリィ」（2026年９月）であります。

（パチスロ機関連事業）

パチスロ機関連事業につきましては、売上高250億円（前年同期比44.7％増）、営業利益114億円（同70.5％増）、販売台数46千台（前年同期は40千台）となりました。

主な販売タイトルは、ＳＡＮＫＹＯブランドの「Ｌパチスロ からくりサーカス２」（2026年７月）、「Ｌパチスロ 彼女、お借りします」（2026年９月）、Ｂｉｓｔｙブランドの「Ｌパチスロ 機動戦士ガンダムユニコーン 覚醒 DRIVE」（2026年４月）の３タイトルであります。

（補給機器関連事業）

補給機器関連事業につきましては、売上高57億円（前年同期比28.6％減）、営業利益3億円（同46.7％減）となりました。

（その他）

その他につきましては、売上高2億円（前年同期比7.5％増）、営業利益90百万円（同8.3％増）となりました。

＜トピックス＞

当社は、2026年９月30日付で遊技機メーカーである株式会社A-gonの株式を取得し、同社を子会社化いたしました。今後は、当社グループが有する経営資源を活用して同社の事業運営を支援するとともに、グループ各社との連携を強化し、パチンコ・パチスロ両事業における商品ラインアップの拡充および販売機会の拡大を図ってまいります。

(2)　当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は3,048億円であり、前連結会計年度末と比べ174億円増加しました。これは主に、現金及び預金が27億円減少となりましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が60億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が50億円、電子記録債権が46億円、商品及び製品が36億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は427億円であり、前連結会計年度末と比べ54億円増加しました。これは主に、未払法人税等が6億円、有償支給取引に係る負債（流動負債「その他」に含む）が5億円それぞれ減少となりましたが、支払手形及び買掛金が63億円、株式給付引当金が3億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ119億円増加しました。これは主に、配当金の支払い89億円を計上した一方、親会社株主に帰属する中間純利益204億円を計上したことによるものであります。この結果、純資産は2,621億円となり、自己資本比率は1.0ポイント減少し、85.5％となりました。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

(1)　中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,463	129,686
受取手形、売掛金及び契約資産	4,832	10,870
電子記録債権	7,152	11,843
有価証券	59,976	59,965
商品及び製品	1,518	5,151
仕掛品	230	35
原材料及び貯蔵品	13,804	11,089
その他	9,987	16,912
貸倒引当金	△8	△16
流動資産合計	229,956	245,538
固定資産		
有形固定資産	41,283	41,198
無形固定資産		
その他	364	371
無形固定資産合計	364	371
投資その他の資産		
投資有価証券	6,351	7,560
その他	9,578	10,296
貸倒引当金	△76	△74
投資その他の資産合計	15,852	17,782
固定資産合計	57,501	59,352
資産合計	287,458	304,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,769	14,121
未払法人税等	9,613	8,980
賞与引当金	903	917
株主優待引当金	144	144
その他	9,387	8,820
流動負債合計	27,817	32,984
固定負債		
株式給付引当金	1,177	1,499
退職給付に係る負債	4,550	4,578
資産除去債務	63	63
その他	3,693	3,658
固定負債合計	9,484	9,800
負債合計	37,302	42,784

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,838
利益剰余金	262,639	274,195
自己株式	△55,795	△55,884
株主資本合計	245,434	256,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,902	3,337
退職給付に係る調整累計額	340	301
その他の包括利益累計額合計	3,243	3,638
新株予約権	1,478	1,478
純資産合計	250,155	262,106
負債純資産合計	287,458	304,891

(2)　中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	100,409	81,025
売上原価	40,871	32,695
売上総利益	59,537	48,330
販売費及び一般管理費	20,499	21,022
営業利益	39,038	27,307
営業外収益		
受取利息	265	422
受取配当金	337	408
その他	313	316
営業外収益合計	916	1,148
営業外費用		
投資事業組合運用損	2	23
その他	2	4
営業外費用合計	4	28
経常利益	39,949	28,428
税金等調整前中間純利益	39,949	28,428
法人税、住民税及び事業税	11,312	8,558
法人税等調整額	△135	△629
法人税等合計	11,176	7,928
中間純利益	28,773	20,499
親会社株主に帰属する中間純利益	28,773	20,499

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	28,773	20,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	665	434
退職給付に係る調整額	7	△39
その他の包括利益合計	672	395
中間包括利益	29,446	20,895
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	29,446	20,895
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

(3)　中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	39,949	28,428
減価償却費	1,225	1,644
引当金の増減額（△は減少）	△87	341
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	42	△29
受取利息及び受取配当金	△602	△831
売上債権の増減額（△は増加）	△9,869	△10,727
棚卸資産の増減額（△は増加）	3,675	△723
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,695	6,352
その他	2,700	△4,518
小計	33,338	19,935
利息及び配当金の受取額	529	718
法人税等の支払額	△15,980	△9,073
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,887	11,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,884	△1,742
投資有価証券の取得による支出	－	△564
貸付けによる支出	－	△2,864
貸付金の回収による収入	22	2
その他	519	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,342	△5,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△45,245	△1,985
自己株式の売却による収入	95	1,985
配当金の支払額	△13,255	△8,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,405	△8,944
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△54,859	△2,787
現金及び現金同等物の期首残高	240,050	192,439
現金及び現金同等物の中間期末残高	185,190	189,652

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	中間連結損益計算書計上額（注）3
	パチンコ機関連事業	パチスロ機関連事業	補給機器関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,853	17,334	8,026	100,215	193	100,409	－	100,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	74,853	17,334	8,026	100,215	193	100,409	－	100,409
セグメント利益	35,311	6,740	618	42,670	83	42,754	△3,716	39,038

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

２　セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

３　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	中間連結損益計算書計上額（注）3
	パチンコ機関連事業	パチスロ機関連事業	補給機器関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,001	25,082	5,733	80,817	208	81,025	－	81,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	50,001	25,082	5,733	80,817	208	81,025	－	81,025
セグメント利益	19,496	11,492	329	31,319	90	31,409	△4,102	27,307

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

２　セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

３　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。